

## 埼玉県機械工学系奨学生レポート 平成 27 年度 8 月 新しい生活に向けて

### はじめに

初めまして 2015 年度、埼玉県機械工学系奨学生の諫山敦成です。

私は、Nissin Brake Ohio でのインターンシップを通して、語学の勉強だけではなく、日本以外の環境下で英語を使用して仕事をするという絶好の経験が得られると考え、このプログラムに応募しました。この貴重な機会を与えてくださった皆様、本当にありがとうございます。このレポートを見て海外留学に興味や決意を抱いてくれる学生が増えるように、私自身様々な経験をし、それを伝えて行きたいです。

### フィンドレーでの生活

住居はフィンドレー大学内にある 2LDK のアパートで、二人で住むには十分すぎるほど広いです。せっかくキッチン付きの家に住んでいるので、早速こちらの学生を家に招待して、餃子パーティを行いました。他にも映画鑑賞会をするなど、我が家をフル活用しています。逆に、インド人の友人の家に呼ばれ、インド料理をご馳走していただいたこともありました。

家の近くには大学のジムがあり、ロッククライミングもできるほど充実しています。私は、暇な時間を見つけてはこちらの学生とバスケットボールをしていて、そこでネパールや中国、韓国やアメリカの学生たちと仲良くなりました。

### フィンドレー大学でのイベントについて

私が感じたフィンドレーの印象は「とても安全な街」です。代わりに周りにはいわゆる遊び場というものが少ないですが、その分学校では様々な行事を企画してくれています。特に最初の一週間は新入生歓迎会を兼ねたイベントが続きました。様々なイベントがありましたが、その中でも印象的だったのはプロのコメディアンが行うコメディライブです。英語が上手く聞き取れきれず難しい顔をしていたためか、私はそのコメディアンに目をつけられ、ライブ中に私への質問タイムが始まりました。彼は私のつたない英語も笑いに変えてくれたので私も安心できました。とても緊張した出来事ではありましたが、今ではおいしい思いをしたなと感じています。

### アメリカでの運転について

日本ではペーパードライバーで数えるほどしか車に乗ったことがなかったため、こちらで運転するときは緊張しましたが、こちらの道路は幅が広く車間距

離も大きく開けているため、安全に運転できています。そもそも日本での運転経験がほとんどなかったためか、右車線や左ハンドルも違和感がありませんが、ウィンカーとワイパーのレバーが日本とは逆についているため、曲がろうとしたときにワイパーを作動させてしまうことがたびたびあります。まだハイウェイには挑戦していませんが、運転できることを生かし、長期の休みには旅行などに行けるようになりたいと思います。

## インターンシップ

火曜日と木曜日は学校での授業のみで実習はありませんが、週三日（月曜日・水曜日・金曜日）は朝 7:30 から午後 2:00 まで Nissin Brake Ohio で実習を行い、その後学校に戻ってから授業を一コマ受ける事となりました。今月は、私たちが働く現場の見学をした後、実際に作業ラインに入って実習を行いました。作業としてはパーツを自動切削機にセットしボタンを押すだけですが、私たちが自動切削機を独占してしまうと、実際に販売する製品を作っているラインを止めることになってしまうため、その見極めが難しく、お互いに意思疎通をする事が重要だと感じました。

## 最後に

私は、国際線を使用するとたびたびトラブルに巻き込まれます。今回もトラブルに巻き込まれたので、留学を考えている人の参考になればと思い記述します。

私は手のひらの肌が元々弱く、この時期はひび割れ、ボロボロになります。これが、入国審査時に指紋がとれないと問題となり、別室に連れて行かれ長時間待つことになりました。乗換便の時間が迫る中なかなか呼ばれずパニック状態になりました。審査が無事終わったころには乗換時間は 30 分を切っていましたが、最終的には無事にフィンドレーにたどり着くことができました。

海外で予想外の状況にあっても冷静に対応できるようにこの一年間でなりたいと思います。



餃子パーティ



バスケットボール風景



コメディアンと私



自動切削機使用風景